

平成 30 年度  
生活介護事業所アンジュ  
事業報告

1. 利用者状況 (3月末)

○在籍状況 男性 35名 女性 21名 合計 56名

(平均年齢) 男性 57.4歳 女性 51.8歳 全体 55.3歳

○年齢別

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男性	2	1	7	5	12	8	35
女性	0	4	1	7	7	2	21
合計	2	5	8	12	19	10	56

○支援区分別 平均支援区分

	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	5	11	10	7	2	35
女性	6	5	4	4	2	21
合計	11	16	14	11	4	56

○推移状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日	22	22	22	23	20	21	23	22	21	19	20	23	258
男性	46	46	46	47	47	38	38	38	37	37	36	35	491
女性	30	30	30	30	30	20	20	21	21	21	21	21	295
利用者数	76	76	76	77	77	58	58	59	58	58	57	56	786
出席率	79.4	81.9	82.9	80.7	77.1	74.7	83.4	83.9	81.1	78.6	80.8	72.8	80.4

・新規利用者4名 (4月GH2名・7月GH1名・11月GH1名)

・退所者22名 (9月シャングリラへ19名異動 12月シャングリラへ1名異動  
1月死去1名 3月シャングリラへ1名異動)

2. 利用者支援

9月に新規生活介護事業所「シャングリラ」が開所し、利用者が20名が異動した事で2階のフロアにも余裕が出来た。2階の利用者が少なくなった事で3階の利用者数との不均衡が起きた為、利用者の入れ替えを行った。年度後半は職員数も少なく、職員体制的に散歩・買物等の外出の機会を設ける事が難しかった。

利用者の高齢化・病気の進行等に伴い、ゆず屋・タッセル・オリーブの活動に参加

出来る利用者が少なくなり、また、休日出勤出来る利用者も限られる状況となった為、ゆず屋・タッセル・オリーブの活動を平成31年4月～奥戸福祉館に引き継ぐ事を決断し、年度後半より引継業務を行った。

### 3. 活動内容

#### (1) 生産活動

##### ○受注作業

「働く事を希望している利用者が誰もが作業に参加できる」をコンセプトに作業を受注した。取引先として(株)東栄社(教材の袋詰め)、(有)小笠原(ボールペン・シャープペンの組み立て)、(有)ノベルサービス(ボールペンの袋詰め)、(株)いわい(ネジの袋詰め)、(株)プラコス(シャープペンのメカ部分の組み立て)があり、こちらの事情に協力をしていただきながら受注する場面もあった。色々な工程があった事で利用者の全てが受注作業に参加する事が出来た。

##### 収入

東栄社	842,334円
小笠原	671,988円
ノベルサービス	5,650円
いわい	9,424円
プラコス	19,440円

#### (2) 清掃活動

今年度は7名体制で清掃活動を行った。皆、慣れた作業に一生懸命取り組んでいた。3月より女性利用者1名、男性利用者1名に新しい清掃作業を加え、作業量を増やした。来年度に向けて徐々に作業出来る幅を増やしていきたい。また、2・3階の職員体制上から利用者の清掃活動の様子を把握する事が出来なかった為、今後は職員間で連携を取りながら作業を見守る機会を増やし、必要であれば助言等を行っていく。

収入 480,000円

#### (3) レンタルタオル

手拭きタオル、食器布巾、台布巾を4月から11月まで8か所に貸し出した。アイロン掛け、伝票作成、袋詰め、コロコロを使ったゴミ取り、タオル配達、洗濯を利用者の作業として提供した。伝票作成、袋詰め、朝の配達、洗濯は当番制にして責任をもって行ってもらった。一人で自分のペースで行いたい利用者は単独で行ってもらい、書字がゆっくりな利用者はペアを組んで時間内に終われるよう工夫した。

タオル配達は利用者の体力維持、健康維持、リフレッシュも兼ねて行った。4～8月まではオリーブの利用者が配達していたが、9月からは2階はランダム、3階は当番制

で様々な利用者が外に出て歩く機会として携わった。

タオルの枚数を的確に入れる、アイロン掛け、伝票作成、袋詰めなど高い能力を要する為、限られた少数の利用者しか携わる事が出来ず、かつ毎日の作業であった為、利用者の作業負担に偏りが出る事が避けられなかった。その為、11月で終了し奥戸福祉館へ引き継いだ。

収入 267,805 円

#### (4) 自主生産活動

##### ① しめ飾り

ゆず屋や区役所販売会で50個販売した。活動のメインが3階に移った事でこれまで自主生産に関わる事が少なかった利用者も楽しんで参加していた。

収入 40,000 円

##### ② リサイクルペーパーポット

エコポットとフラワーポットはシャングリラと別れる9月前までは2階をメインで活動していた。担当者が関われる機会が少なかった為、材料集め、作成までは出来たが、完成品を作る事はあまり出来なかった。9月以降はシャングリラに活動を引き継いだ。

収入

リサイクルペーパーポット 2,290 円

フラワーポット 11,200 円

##### ③ アクリルたわし

毎週金曜の午前に利用者1名がアクリルたわしを作製し、ゆず屋・タッセルで販売した。ハンドメイドが好きなお客様から好評で、本人も自信を持って製作に取り組み、ほとんど職員が教える事もなく作製していた。しかし、需要は多くはなく、在庫が余っている現状である。来年度もゆず屋での販売は継続するが、製作は行わず、在庫がなくなり次第販売終了とする。

収入 5,400 円

#### (5) 創作活動

9月までは火曜日・木曜日に活動を行っていたが、シャングリラ開所後は木曜日に光・海・風の3つのグループに分かれての活動となった。活動場所も相談室から2階に変更している。

主にクラフトバンドやリリアン、キャンバス手芸を使った作品が多く、ロールピクチャーや羊毛フェルトを作成している利用者もいた。冬にはクリスマスに向けて、希望者はクラフトバンドを使ったクリスマスツリーを作成している。利用者自らで作成したい作品を選び、自分のペースで楽しみながら活動を行う事が出来た。

## (6) クラブ活動

月に1度手習い・運動・芸能の3つのクラブに分かれ活動を行った。

手習いクラブでは、手芸・公文と二つのグループに分かれ、午前と午後で交代をしながら活動を行った。手芸ではリリアンやキャンバス手芸の他に、今年は縫いぐるみを作成している利用者も多かった。中には新しい作品に挑戦している利用者もいた。公文では、塗り絵や計算問題を解き、職員が添削をすることで満足感を得ており、多くの利用者が楽しみながら活動を行っていた。

運動クラブでは、晴天時に四つ木のヨーカドーから勤労福祉会館、シンフォニーヒルズから勤労福祉会館等のルートで散歩を行った。途中休憩を挟みながらであったが、職員と談笑を楽しんでいる利用者が多かった。外を歩く事で四季の移ろいを感じる事も出来ていた。悪天候時やインフルエンザの流行で散歩が中止となった際はDVD鑑賞や室内で出来る身体を動かすレクリエーションを実施した。レクリエーションは毎回とても盛り上がり、皆楽しんでいる様子であった。

芸能クラブは、勤労福祉会館にて午前は主に「はないちもんめ」等の身体を使った昔の遊びやダンス、午後はカラオケを行った。身体を動かす事を拒否をする利用者もいたが、職員が間に入る事でほぼすべての利用者が参加出来た。カラオケは利用者からの要望も多く、とても楽しんでいた。

また、納涼お楽しみ会にて全員で劇を発表し、冬のお楽しみ会ではハンドベル演奏を発表した。劇の配役を決めセリフを練習し、パートの練習をする等続け、人前で披露する楽しさを経験してもらった。衣装を着て他利用者や職員から拍手をもらった事で達成感や満足感をそれぞれ得ていた。

## (7) 体力・筋力の維持の取り組み

午前は嚙下体操、午後は介護予防体操を実施している。嚙下体操は職員が利用者とともにやり、介護予防体操は音楽に合わせて身体を動かす事により心身への刺激となり、楽しみながら体操に参加出来た。

## (8) 機能訓練

月1回理学療法士の訪問があり、年度後半からはシャングリラの一角を借り、6名の利用者が機能訓練を受けた。GHで出来る訓練メニューを教えてもらい、アンジュ内で昼食前の歩行訓練を行う等個別に対応した。また、悪天候時以外はシャングリラまで徒歩で往復する事で歩行訓練を実施していない利用者も歩行が出来るよう考慮した。6名ほぼ全員の身体機能の向上が見られている為、今後も実施する。

## (9) 行事・余暇活動

行事・余暇活動

○行事

- ・グループ外出は以下の日程で行った。

5月7日	葛西臨海水族館
5月18日、24日	上野動物園
6月18日、19日、21日	羽田空港

- ・納涼お楽しみ会

立石地区センター別館にて8月23日に実施した。午前中はヨーヨー釣り・ポップコーン・輪投げの模擬店、芸能クラブによる劇の出し物、運動クラブによる盆踊りの出し物を行った。輪投げは景品が貰えるのでとても盛り上がっていた。午後はスイカ割りを行った。こちらもとても盛り上がった。何回もスイカをお代わりする様子が見られた。会の中で普段コップ洗いや掃除をしてくれている方に表彰状の授与を行った。初めて表彰状を貰うという方も多く、とても喜んでくれていた。

- ・還暦を祝う会・年忘れお楽しみ会

シャングリラと合同で12月20日に行った。

午前の会場はアンジュ2階でアンジュの利用者とシャングリラの利用者の一部が参加した。音楽クラブからハンドベルによる合奏とクリスマスソングの輪唱を行い、季節を感じる事ができ、参加利用者に多くの笑顔が見られた。

午後はシャングリラの2階でアンジュの利用者とシャングリラの利用者が参加し、還暦・永年勤続のお祝いを行った。その後抽選大会を行い、すべての利用者が景品を手にて満足した様子であった。

#### ○余暇

- ・休日開所

以下の活動を行った。毎回20～30名が参加しており、好評であった。

6月2日	シンフォニーヒルズにて昼食外出
7月14日	クッキング（素麺・手巻き寿司・デザート）

- ・昼食外出

平日の昼食外出は以下の日程で行った。

11月21日、12月6日	かっぱ寿司
12月13日、1月10日、16日	華屋与兵衛

2月14日	目利きの銀次
2月21日	マクドナルド

#### 4. 従たる事業所「オリーブ」

前半は8名の利用者の方を対象に、それぞれの利用者の能力に合った日中活動を提供すると共に、身体機能維持の為に運動も行った。9月からは対象の利用者の方がシャングリラに移動した事もあり、ゆず屋の寄付品の仕分けや値付けをする場として6名の方が活動に参加した。自分が手をかけた物が販売品として店頭に並ぶ過程を見て、自分の行為が人の役に立っている事を直接感じられる機会としてとても充実していた。

#### 5. 従たる事業所「エコライフプラザ」

活動を通して、地域の方との触れ合いの場や社会の一員として意識を持つ事、衛生面の意識を高める事等が出来た。

##### (1) 日用不用品コーナー「ゆず屋」

4～8月までは30名、9月～3月は17名の方が活動に参加した。アンジュ内での軽作業と違い職員ともマンツーマンになる事が多く、普段言えない会話や話題で、ストレス解消にもなり笑顔で楽しく活動に参加していた。

収入 8,921,806円

##### (2) 喫茶コーナー「タッセル」

当初は7名の方が活動に参加していた。年齢的な身体機能の低下から1名の方が7月から活動から外れた。活動に参加出来る利用者が少なくなった事から平日や祝日に利用者が不在で営業する日も増えた。利用者によっては色々な戸惑いや不安等を抱えて活動に参加している事もあったが、職員と密に関わる事で一般的に生き生きと活動に参加している事が多かった。

収入 3,653,470円

#### 6. 従たる事業所「キッチン Kiss・原町食堂」

##### (1) キッチン Kiss

9月末まではGH利用者の夕食・朝食調理、配膳、配達を行った。10月からは、アンジュとシャングリラの給食調理を開始した。しかし、10月の半ばに調理の中心職員の足の骨折・入院に伴い、給食調理をシャインに依頼する形となり、多方面に迷惑を掛ける事となった。10月後半から11月末までキッチンでの活動の中

止し、キッチン利用者はその間2階で活動してもらう事となった。12月からキッチンでの活動を再開した。その際、高齢の男性利用者が疲れを理由に活動場所を2階に変更している。給食自体は、以前よりも利用者の嗜好や口に合っているようであり利用者より好評の声が上がっている。

タッセルへのランチ弁当の提供も継続して行い、ランチ弁当目当てで来店されるお客様も多数居るなど貢献した。

## (2) 原町食堂

上記でも記述したが職員の入院に伴い、11月の1ヶ月間はお休みをした事で、再開を待ち遠しく待っていてくれた利用者が多かった。利用者から作って欲しいメニューをリクエストしてもらう事も多く、他のGH利用者との交流の場以外にも楽しい時間を過ごす・食事を楽しむ場として定着している。

収入 12,786,199円

## 7. 従たる事業所「モモズレシピ」

6月までは、シフォンケーキを作る場として数名の利用者が参加し、それぞれが出来上がる工程を行ってもらって達成感を得ていた。しかし、6月末で主にシフォンケーキ作りを行っていた職員が退職した事で事実上シフォンケーキを製造出来る職員が不在となった為、それ以後の活動は行わず、8月末で従たる事業所として廃止した。

収入 353,803円

## 8. 健康管理

利用者の健康状態を把握する為、毎月体重測定、血圧測定を行い、その他に年1回の定期健康診断をシャングリラと合同で行った。毎日必要な利用者には血圧測定を実施し、通院時に医師に相談してもらう材料とした。また、日頃から様子観察を行い、体調変化に気付けるように配慮した。

1月末よりインフルエンザの感染者が増え、毎朝の通所前の検温とマスクを着用しての通所をGHに依頼し、帰所後に室内、トイレ等の清掃を3週間行った。

○体重・血圧測定 毎月末

○利用者定期健康診断 11/1

## 9. 地域交流

ボランティアセンター、区立中学校からの体験依頼があり受け入れた。

・葛飾区立常盤中学校生徒1名 1/21~25

・葛飾区立中川中学校生徒3名 1/22



## 10. 防災

利用者の安全面に考慮し、避難訓練を行った。また、常日頃から避難路の確保に努めた。また、シャングリラと合同で本田消防署の署員を招き、AED の使い方を含む救急救命講習会を実施した。

- ・7/20 避難訓練（火災想定）
- ・11/15 避難訓練（地震想定）
- ・1/16 救急救命講習会（シャングリラと合同実施）

## 11. 職員研修

### (1) 職員研修

支援に必要な知識・技術を得る為外部研修に参加した。また、内部研修を行い支援スキルの向上を図った。

#### ①外部研修

- 「新しい事例検討のあり方を学ぶ」～PCAGIP（ピカジップ）を体験する～ 6/6
- てんかん基礎講座 8/9
- CASE STUDY #モノづくり～モノが生まれる視点～ 10/10
- 発達障害講習会 11/11
- 発達障害者相談支援研修 12/1
- 行動援護従事者養成研修 12/7～8
- 管理職のためのメンタルヘルス講習会 1/15
- 就労継続支援B型・生活介護の事業と支援のあり方について 1/18
- チームリーダー重点テーマ研修 1/22～23

#### ②内部研修

- ストレングス視点を支援・個別支援計画に活かそう 5/16

## 12. 第三者評価

2～3月にかけて調査等を受けた。誤投薬が無かった事、工賃の変更について利用者懇談会で丁寧に説明した事等が良い点として評価された。今後力を入れる点として、日常的な活動の中での「生活リハビリ」等が上がっている。